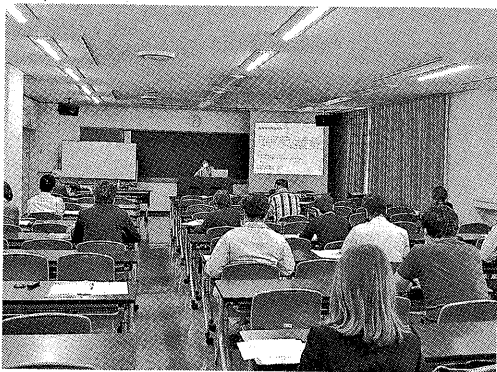


男女参画、ワークバランス研修 21・建設クラブ・福岡



社会貢献団体・建設業者異業種会の（一社）21・建設クラブ・福岡（大鶴耕司理事長）は28日、「第16回男女共同参画研修会」と「第7回ワークライフバランス研

修会」＝写真＝を福岡市立早良市民センターで開催、会員25人が参加し、両テーマに関わる最近の動向や対応について理解を深めた。男女共同参画研修会は

福岡県同和研修事業、ワークライフバランス研修会は福岡市優良企業認定講習として実施したものの。冒頭、大鶴理事長は「今年度の前期は、新型コロナウイルスの影響で活動できない状況が続いたが、後期は一年を凝縮した形でさまざまな活動に取り組んでいきたい。この研修会は県や市の加算評価につながるものだが、評価点のアップは企業の価値を高めるということ。今日の内容はしっかりと社内にも周知してほしい」と述べた。

福岡県同和研修事業、が務めた。「男女共同参画社会と人権」と題した講演では、ハラスメントの種類や定義、指導・命令との違いなどを解説し、職場における予防と対策についてアドバイスを。

「建設業におけるワークライフバランス」をテーマとした講演では、ワークライフバランスに関する近年の動きや課題などを説明した後、建設会社の取り組み事例、個人・組織にとつての効果を紹介。その実現には「無理と思えば方法は見つからない。社員の意見を聞くことから始めてほしい」と呼び掛けた。

両研修会の講師は、NPO法人福岡ジェンダー研究所理事の倉富史枝氏